

国立国語研究所学術情報リポジトリ

Collaborative Research Projects in the Department of Crosslinguistic Studies

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-10-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 角田, 太作, TSUNODA, Tasaku メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00000688

〈共同研究プロジェクト紹介〉

言語対照研究系の共同研究プロジェクト

Collaborative Research Projects in the Department of Crosslinguistic Studies

角田 太作 (TSUNODA Tasaku)

国立国語研究所 言語対照研究系長

(Director, Department of Crosslinguistic Studies, NINJAL)

言語対照研究系で行う研究は、世界の諸言語と比較することによって日本語の特質を明らかにすることを目標としている。その一環として、現在、四つの共同研究プロジェクトを行っている。基幹型共同研究プロジェクトが三つ、領域指定型共同研究プロジェクトが一つである。

基幹型共同研究プロジェクト

「形容詞節と体言締め文：名詞の文法化」(略称：体言締め文)

プロジェクトリーダー：角田太作 (教授, 研究系長)

「節連接へのモーダルの・発話行為的な制限」(略称：五段階)

プロジェクトリーダー：角田太作 (教授, 研究系長)

「述語構造の意味範疇の普遍性と多様性」(略称：述語構造)

プロジェクトリーダー：プラシャント・バルデシ (教授)

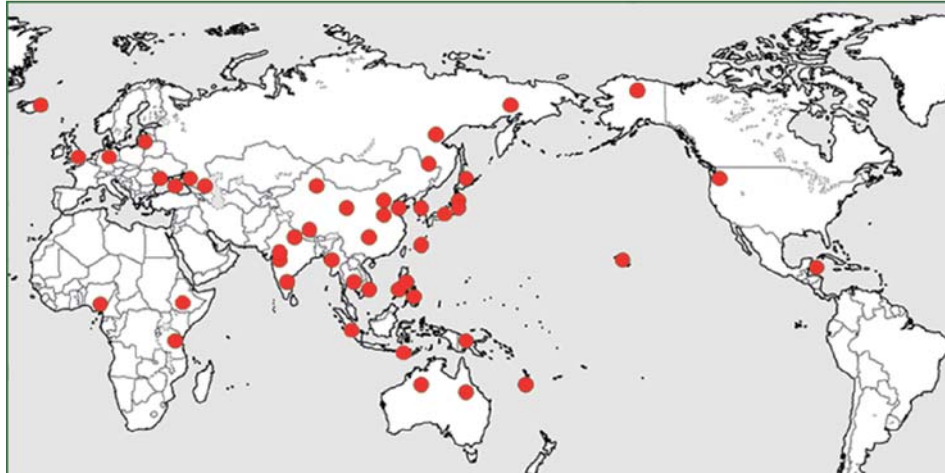
領域指定型共同研究プロジェクト

「空間移動表現の類型論と日本語：ダイクシスに焦点を当てた通言語的実験研究」

プロジェクトリーダー：松本曜 (神戸大学教授)

上記の四つの共同研究プロジェクトで、世界各地の 50 近くの言語を研究している。その言語を地図に示す (次ページ参照)。

言語対照研究系



言語対照研究系は、世界の諸言語と比較することによって、日本語の特質を明らかにすることを目標とします。

四つの共同研究を行っていて、上記の世界地図で示した言語などを研究しています。

以下では、基幹型共同研究プロジェクトのリーダーがその研究内容を紹介する。